

富山県朝日町

# 議会だより



第100号

平成31年2月1日



朝日町文化体育センター 屋内グラウンド (左上)  
武道館外観 (右上)  
武道館1F (左下)  
武道館2F (右下)

## 第6回議会臨時会 第7回議会定例会

■ 議会だより100号を記念して	2
■ 30年度補正予算など	3
■ 代表質問 3名	4～8
■ 一般質問 6名	9～14
■ 常任委員長報告	15
■ 議会日誌 10月～12月	16

《発行編集》

富山県朝日町議会だより編集委員会

〒939-0793

富山県下新川郡朝日町道下1133番地

☎0765-83-1100(代)

# 議会だより100号を記念して

今回発行した平成の最後となる議会だよりで、創刊からちょうど100号を迎えることとなりました。

その記念に、創刊の経緯を簡単に振り返りたいと思います。

議会だよりは、今から25年近く前の平成6年5月1日に創刊されました。

創刊号を読み返すと、平成6年頃といえば、境、宮崎、笹川、泊小学校が合併し、さみさと小学校が開校した年であったり、サンリーナが完成した年であったことがわかります。

社会的には、インターネットや携帯電話の一般家庭への普及はまだこれからという時代であり、情報伝達方法としては紙面が主流でした。

「朝日町議会だより」を創刊する以前は、議会広報を「広報あさひ」の中でコーナーとして間借りする形で行っていました。

しかし、全国的にも6割、新川広域圏においては朝日町を除く全ての市町村の議会で、議会独自の議会広報を行っており、町民からも「なぜ朝日町だけが独自発行をしていないのか、議会は議会活動を住民に知らせる責務があるのではないか」との声が多くなっていました。

こうした状況の中、何名かの議員より、議会活動を住民に詳しく知らせ、町政にもっと関心を持ってもらうよう努力すべきではないかという申し入れがあり、議会運営委員会、議員協議会による協議を重ね、平成6年5月1日の議会だより創刊へと至ったというわけです。



議会だより創刊号の表紙

それから25年近く、基本的なつくりは創刊当時から変わっていませんが、より詳細に、より読みやすく、よりわかりやすく、気づけばページは当時の8ページから16ページへと増え、レイアウトも何度も変更してきました。

次に皆さんにお届けするのは、新たな元号となる5月になりますが、町民の皆さんに広く読んでいただくため、これからもさらに読みやすく工夫を重ねていきますので、今後とも議会だよりをご愛読いただければと思います。

# 議会で決まったこと

## 30年度補正予算の主なもの

1万円未満切捨て

一般会計（補正第9号）	補正総額	2億1,089万円
泊高校跡地利活用検討事業		32万円
賦課徴収事務費 ・システム改修委託費		216万円
県議会議員選挙事務費		211万円
国民年金事務費 ・システム改修委託費		41万円
花き園芸作物振興事業（農作物台風被害緊急対策事業） ・白ねぎの台風被害による緊急防除等の経費への支援		9万円
施設管理運営費 ・武道館、屋内グラウンド		112万円
就学援助費 ・新入学小中学生学用品費		97万円
予備費		2億246万円
特別会計		
国民健康保険会計		7,146万円
後期高齢者医療事業会計		2,278万円
簡易水道会計		1,289万円
下水道会計		222万円

## 第7回定例会

**平成30年度補正予算、  
条例一部改正など  
8議案を可決**

平成30年第7回議会定例会は、12月6日から20日までの15日間にわたり開催され、平成30年度補正予算や条例一部改正などが審議され、原案のとおり可決しました。

## 第7回定例会審議結果

※議決日は12月20日

議案番号	件名	審議結果
議案第75号	平成30年度朝日町一般会計補正予算（第9号）	原案可決
議案第76号	平成30年度朝日町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第77号	平成30年度朝日町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第78号	平成30年度朝日町簡易水道特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第79号	平成30年度朝日町下水道特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第80号	朝日町の職員の給与に関する条例等一部改正の件	原案可決
議案第81号	朝日町文化体育センター施設条例一部改正の件	原案可決
議案第82号	黒東合口用水組合規約の変更の件	原案可決

## 第6回臨時会審議結果

※議決日は11月13日

議案番号	件名	審議結果
議案第70号	平成30年度朝日町一般会計補正予算（第8号）	原案可決
議案第71号	農業者宿泊研修施設新築工事請負契約締結に関する件	原案可決
議案第72号	林道施設災害復旧事業 林道蛭谷線災害復旧工事請負契約変更に関する件	原案可決
議案第73号	地方自治法第179条による専決処分の件 専決第11号 平成30年度朝日町一般会計補正予算（第6号）	原案承認
議案第74号	地方自治法第179条による専決処分の件 専決第12号 平成30年度朝日町一般会計補正予算（第7号）	原案承認

## 第6回臨時会

平成30年第6回議会臨時会は、11月13日に開催され、平成30年度補正予算など5件が審議され、原案のとおり可決・承認しました。



## 泊高校跡地の利活用検討 委員会の今後について



道用昭雄（一步会）

**答** 今後委員会を重ね、具体的な方策を  
まとめて県へ要望していく

**質問** 泊高校跡地の利活用検討委員会とその予算について伺う。

また、多くの委員が集まると、自由な発言、自由な発想が難しいため、例えば情報収集企画調整係、公的施設調査検討係、民間施設調査検討係の3つに分け、それぞれで研究し、全体会で発表しながら進むのも一つの方法と思うが、どうか。

**答** 町長 泊高校が再編統合される結果になったことから、町の活性化のため泊高校跡地利活用検討委員会の1回目を平成30年10月17日に開催し、2回目は1月下旬～2月上旬にかけて開催する予定である。委員会には委員15名、オブザーバー3名、町から三役と関係課長が参加している。泊高校

の視察や県外視察も計画している。

今後来年度にかけて4～5回委員会を開き、具体的な方策を報告書にまとめ、県へ要望していく。来年度の予算は約100万円を見込んでいるところである。議員が提案された組織化も検討していきたい。

**再質問** 検討委員会の委員の中でも理解度にもばらつきがあるため、委員それぞれが意見を言いがらいいのではないか。委員に事前には様々な説明をした方がよいのではないか。

**再答** 町長 総務政策課長 説明のため多くの方々を集めると日程調整が難しいため、場合によっては委員や団体の方々が集まる機会などに町職員が出向くなど、情報提供や広く意見収集ができる場を

つくり、できるだけ意思疎通を図っていきたくと考えている。

**答** 若い教員を中心に徐々に勤務時間削減の意識が出ている

**質問** 町内小中学校にタイムレコーダーが設置されたが、勤務時間の削減に向けた職場の関心はどうか。

**答** 町長 教育長 教員の出勤を把握するためタイムレコーダーを導入し9月から実施している。徐々に若い教員を中心に「帰る時には帰ろう！」と互いに声をかけ合う等の意識がはじまっているようである。ただ、効果を性急に求めると持ち帰り残業が増える結果となりがねないため十分に注意をする必要がある。

**答** 学校教育と家庭教育のつながりについて

**質問** 学級懇談会などを通して保護者と相互理解を深めている

学校の教員と児童・生徒

の親のつながりはどのようなになっているか。

**答** 町長 教育長 教育の充実を図るためには学校と家庭が情報交換をしながら連携・協力して取り組むことが大切であり、①学級懇談会・個別懇談会、②家庭訪問、③授業参観・行事参観、④学級通信・PTA総会等々を通して保護者と相互理解を深めている。

**答** 家庭教育への自治体の働きかけについて

**質問** 親学び講座、交流会、教育相談などに努めている

**答** 町長 教育長 家庭は基礎的な生活習慣や生活能力、そして豊かな心を育てる教育の出発点である。

平成18年に教育基本法が改正され「父母その他の保護者は子供の教育について第一義的に責任を有する」と家庭教育の責任と役割が初めて示された。

近年、地域社会のつながりが希薄になるなどの社会状況の変化の中で、保護者の自覚不足、過保護・放任等々が生じ、結果、家庭教育力が低下して、学校への負

# 代表質問

担が多くなり、教員の多忙化の要因となっている。

そのため、家庭教育充実のためには社会全体で支援することが重要になっている。

このことから朝日町は第5次総合計画において「家庭教育支援施策」を位置づけ「親学び講座」の開催、研修会や交流会、教育相談の充実に努めているところである。

## 町の文化財の解説書は新しいのか

**答** 平成31年3月に新しいものを発刊する予定

**質問** 町の文化財の解説書は前回の発刊後、内容に変化があるが新しく発刊しないのか。

**答** 教育委員会事務局長 文化財の解説書「朝日町の文化財」は昭和48年度、昭和61年度そして平成15年度に発刊され、小・中学校の社会科の資料として利用されてきた。平成31年3月に新しいものを発刊する予定である。

## 不動堂出土土器の種実圧痕文の内容について尋ねる

**答** 不動堂で5千年前の縄文時代に大豆が栽培されていた可能性が示されたもの

**質問** 不動堂出土土器種実圧痕の論文が注目を浴びていると聞いたが、どのような論文か尋ねる。

**答** 教育委員会事務局長 平成28年度から3年間、地域の方々に不動堂遺跡研究に関わっていただき、地域への愛着と誇りを持ってもらうため「地域を創る、国史跡不動堂遺跡再発見事業」に取り組んだ。

結果、不動堂遺跡の土器から見つかった大豆属の種子3点、シソ属の果実1点を含む18点の圧痕の大きさから、不動堂で5千年前の縄文時代に大豆が栽培されていたのでは、との新しい発見があり、今後の調査が期待されるところである。



見つけた大豆の圧痕

## 関電黒部ルート的一般開放に伴う観光振興に対する町の考えについて伺う

**答** ヒスイ海岸や舟川春の四重奏を含めた新川圏域全体の観光ルートの設定に努める

**質問** 2024年度の関電黒部ルート一般開放に伴い、朝日町に観光振興に対する大きなチャンスが到来すると考えるが、当局の考えを伺う。

**答** 町長 富山湾・黒部峡谷・越中にかわ観光協議会や新川地域観光開発協議会等による連携はもちろん、民間団体を含めた連携も必要であると考える。5年後に開放が決まった関電黒部ルートを活用した着地型観光におけるモデルコースの設定等については、朝日町の2大景勝地であるヒスイ海岸や「舟川 春の四重奏」を含めた新川圏域全体の観光ルートの設定に努めたい。



寺西 泉 (青雲)

再生可能エネルギーへの取り組みについて町の考えを伺う

**答** 地域活性化の手法と考え、鋭意事業に取り組んでいる

**質問** 朝日町においては再生可能エネルギーへの取り組みを町の活性化につなげることが重要だと考えるが、町の考えを伺う。

**答** 住民・子ども課長 近年、国においては再生可能エネルギーの導入を加速化してきており、引き続き積極的に推進していくこととしている。

町では、再生可能エネルギーへの取り組みも地域活性化の手法であるとの考えから、太陽光、小水力、風力、バイオマスなどの各種

再生可能エネルギーのこれまでの調査・検討を踏まえ、これからの展望と方向性を整理し、町のエネルギービジョンを調査・研究することを目的とした再生可能エネルギービジョン検討委員会を組織したところである。

10月25日に開催した1回目の検討委員会では、朝日町地球温暖化防止実行計画や環境省の地方公共団体実行計画における朝日町の二酸化炭素排出量の現状や各種再生可能エネルギーの概要、朝日町における再生可能エネルギーの導入状況のほか、このたび採択を受けた再生可能エネルギー電気・熱自立的普及促進事業の概要について説明した。また、環境省の職員より再生可能エネルギーに係る国の



再生可能エネルギービジョン  
検討委員会の様子

動向と支援策について、ご教示いただいた。

今後は、各種再生可能エネルギーがある中で、導入の期待値が高いものについての絞って検討することとしているが、まずは現在着手している補助事業、自家消費型・地産地消型システムの方向性を見極めたい。

## サテライトオフィス誘致の意義や経緯、今後の展望を伺う

**答** 真剣に検討いただいている企業もあるが、今後も早期実現に向けて努める

### 質問

サテライトオフィス誘致の意義や目的も含めて、今までの経緯及び今後の展望について伺う。

### 答弁 地域振興課長

サテライ

トオフィスは、本社から離れた場所に設置されたオフィスを言う。用途にもよるが、支店や支社というよりも小規模な営業所といったイメージのものである。情報通信技術の進展により、一昔前のように電話やファクスでのやりとりだけでなく、大量の文字データや画像、動画までもが瞬時に送受信可能となったことから、社員が本社以外の離れた場所にいた場合にお

いても、テレビ電話などで社内会議に参加することができる時代となっており、パソコンが使える通信環境とパソコン一台があれば、都市部にいるときと同じような仕事が可能となる。

誘致する側のメリットとして、空き家をオフィスとして活用することや、朝日町の企業が、都市部の企業と接する機会が増えることで、新たなビジネスチャンスが生まれる可能性がある。

このようなメリットを目的に町ではサテライトオフィスの誘致に取り組んでおり、首都圏企業との出会いの場であるマッチング会においては、地方を支援するビジネスを展開したいという企業の中から特に感触が得られた16社のうち14社については一度朝日町に来ていただいている。その中でも、その後再び来町されるなど本気度が高い企業が3社あり、そのうちの1社については、来町した際には町内の各種団体の方々と積極的に交流を図られるなど、朝日町で試験的にサテライトオフィスを開設できないか真剣に検討しておられた。

町としては、今後も企業や関係機関と密に連携を図りながら、地域おこし企業人という有利な制度

も活用し、サテライトオフィスの早期実現に向けて努めたい。



東京でのサテライトオフィスマッチング会の様子





# 代表質問

## ヒスイテラスの現況と今後の運用は

### 答 施設内の給排水設備をPRして カフェ等の出店を促したい



石原孝之 (グループ22)

**質問** 10月20日にヒスイ海岸観光交流拠点施設「ヒスイテラス」がオープンし町内外からのたくさん

の家族連れなどで賑わっているが、今までにどれぐらいの来場者があったのか。

また、コーヒーマシンの販売や飲食などがあればよいとの意見があるようだが、出店は考えているのか。

**答 弁 町長** 20日、21日の両日には竣工記念のイベントを開催しており、たら汁の無料配布を行ったほか、ヒスイテラスの雰囲気にもマッチした町内外の店舗が軒を連ね、両日合わせて約2,500人が来場されたところである。平日には約100人前後、休日には約200人を超えるなど、これまで延べ5千人が来場されており、テラスから望むヒスイ海岸の眺望を

楽しんでいただいている。

来場された方からは、ヒスイテラスに飲食ができるコーナーがあればよい、ヒスイ海岸を眺めながらコーヒーマシンの飲めるようにするといった意見が多かった。施設内には、カフェなどの出店希望があった際に対応できるように、給排水設備を整えたスペースも準備しており、そのスペースの活用については、町内外に広くPRしていきたい。また、授乳室の設置や、特に朝日が昇る、夕日が沈む時間帯等の開放についても、今後検討していきたい。

### 煙製事業に至った経緯と今後のスケジュールは

**答** 3月に煙製加工室が完成し、当面は煙製・干物づくりなどに注力する

**質問** 豊富にある海の幸を活用

する煙製事業は、朝日町の特産品として定着できるよう期待をしたが、なぜこの煙製事業を選択したのか、また今後のスケジュールは。

**答 弁 地域振興課長** 平成28年

度より国の地方創生加速化交付金及び推進交付金を活用し、特産品となり得る特別栽培米及びバタバタ茶、煙製等を活用した加工品の

開発、販路の拡大・開発を推進してきた。

煙製については、内水面漁業協同組合によるサケの煙製づくりの下地があり、朝日町の自然の恵みを生かした煙製という加工手段を用いて、安価な素材に付加価値をつけて販売する6次産業化を見出すと、国の交付金を活用することとし、煙製づくりに向けた漁業関係団体や町内業者など5社を参画団体として、製造に必要な煙製機等を購入し、試作品づくりを進めてきた。

今年度については、宮崎地内にある朝日町漁業協同組合の空き倉庫を借り、煙製加工室の設置を進めてきており、3月中には完成の予定である。当面は、既存の煙製機を3台使い煙製をつくるほか、干物づくりなどにも力を注いでいきたい。

**再質問** 子どもたちに煙製づく

りを体験させてあげ、それをきっかけに町民の皆様が納得して胸を張って町外に持っていきける煙製を目指してもらいたい、町の考えはどうか。

**答 弁 地域振興課長** これから

朝日町の特産品としてこの煙製を売り出していくためには、まずは何よりも町民の皆さんに、誰が生



ヒスイテラス

産しているのか、どこで加工しているのか、どうやってつくるのか、そういったところを見たり体験したりしていただくことが非常に大切かと考えている。



燻製商品の数々

**城山の自然公園へジップライ  
ンを設置してはどうか**

**答** 厳しい条件はあるが、検  
討・議論をしていきたい

**質問** 朝日町には、緑と水・森

林浴など自然に囲まれた棚山、日本海を一望することができる城山など自然に満ちあふれた場所がたくさんあるが、残念なことに、その魅力を生かし切れていないのが現状である。そこで、城山から日本海に向かって空中を駆け抜ける爽快感と目の前に迫ってくる日本

海を満喫できるであろうジップラインの設置を考えてみてはいかがか。

**答** 弁 農林水産課長 城山の自

然公園へのジップライン設置は安全面や設置場所の勾配など厳しい条件はあるが、海と山が接近しているロケーションは県内でも数少なく、町の子育て施策はもとより観光施策にもつながる可能性を有しているため、設置検討においては位置や規模、運営形態、許認可等クリアすべき課題を明確にした上で検討・議論を進めていきたい。



城山自然公園

## 本文に掲載した記事以外の質問

### ◆道用昭雄 議員

- 朝日町の文化財について
- 町の文化財の内容について
- 中学生の自転車による通学路について
- 自転車が入れることが可能な歩道はあるか
- 自歩道の安全対策について
- 自歩道の標識について

### ◆寺西 泉 議員

- インバウンド観光促進について
- インバウンド対策推進事業台湾プロモーションについて
- 朝日町におけるインバウンド観光促進について
- 再生可能エネルギー施策の促進について
- 再生可能エネルギー電気・熱
- 自立的普及促進事業について
- 地方創生について
- 空き家の現状と利活用について
- 地味おこし協力隊の活用について

### ◆石原孝之 議員

- ヒスイテラスの状況と今後について
- イベントなどの予定について
- 燻製事業について
- 事業計画について
- スポーツ選手の育成について
- 各種競技に適した人材の育成について
- 小、中学校の安全確保について
- 不審者による校舎内への侵入防止について
- 通学路における安全確保について

### ◆大井光男 議員

- 高齢者支援について
- シルバークッキー料金助成・除雪助成事業について
- 町の活性化について
- 特別栽培米・バタバタ茶・燻製事業について
- サテライトオフィスの誘致につ

### ◆西岡良則 議員

- 自治振興会への支援について
- 自治振興会の事務員設置事業補助金について
- 自治振興会の活動支援事業補助金について

### ◆荒尾勇二 議員

- 町民の生活を守り、福祉の充実を図るために
- 生活保護基準が引き下げられたことによる就学援助金への影響はないか
- 農業と漁業の安定した経営を守るために
- 安全な農作物の生産と安定した供給のために、廃止となった主要農作物種子法の復活が必要と考えるかどうか
- 漁業法が改定されたが、漁業協同組合や沿岸漁民の生活に影響が出るかと考えるかどうか
- 生活の安全を図るために
- 有害鳥獣捕獲をなを設置するための資格取得の講習について

### ◆清水真人 議員

- 平成30年度教育委員会の事務に関する点検及び評価報告書について
- 学識経験者意見について

### ◆大久保光太 議員

- 朝日町における災害対策と消防装備品について
- 消防ポンプ車両や小型ポンプなどの更新頻度と更新後の取扱いについて
- 農業者宿泊研修施設について
- 長期対策における研修生のための備品調達計画及び研修プログラム内容の進捗状況について

### ◆朝日町の生活インフラと活性化

- 朝日町の生活インフラと活性化について
- あいのトキめき事業結婚支援イベントについて



## 町税である固定資産税の滞納について

**答** 個別の事業者の税に関わることは  
守秘義務があり答えられない



大井 光 男

**質問** この議題に向き合うとき、むなしさとやるせなさがかみ上げてくる。町民の多くの方々も同じだと思っている。

なぜなら、会社が経営譲渡され、経営者が代わり現在も営業活動されているが、その会社は経営譲渡する以前から固定資産税を滞納した状態で別の会社に引き継ぎ破産し、誰もが支払っている税金を支払わない状態で今日までに至っている。

一人の町民として、町議会議員として、滞納者に対する税の徴収の在り方に深く関心を抱くものである。特に税は特定人ないし特定人の関連する企業を優遇して、合理的な理由なくして税の徴収を怠ることがあってはならないと思う。

日本国憲法の中に、国民の三大義務として、教育、勤労、納税の義務がある。特に納税は町民の皆様が厳しい生活の中から捻出されておられる貴重なお金である。

法人・個人は税の納付が遅れたならば督促状なり、最悪は財産を差し押さえられる。それほど厳しい処分が下される。誰であっても容赦がないくらい税とは厳しい規則があると認識している。

平成29年度の固定資産税の繰越滞納額は約2億7,519万円であり、平成29年度の町税の収入済額約18億2,262万円に対して滞納額は実に15・1%に及んでいる。

そうした中で破産した企業の固定資産税はいくらかあるのか町民の皆様から問い合わせの声が上

がっている。

平成21年に閉館した株式会社小川温泉所有の天望閣の現在の土地と建物の所有は誰なのか、また固定資産税はどのようになっているのか、どの時点で不納欠損処理になるのか伺う。

**答弁** 財務課長 質問にあった個別の事業者に関する事案は町税に関わることから、過去の議会でもお答えしてきたが、地方公務員法や地方税法により守秘義務があり答弁できない。

**再質問** 私は1人の町議会議員として、知る権利と町民に知らせる権利の中で質問している。経営譲渡されたまま、現在引き続き税の滞納があるのか。

また、現在の天望閣の所有者は誰なのか。

**再答弁** 財務課長 情報公開条例の中で、個人の財産に関することは不開示となっており、税同様答えられない。

**議長** 大井議員に対して、私からの言葉を発します。当局はこれまで、地方自治法等で今までも個別の案件は答弁できな



天望閣

いとしている。地方公務員法132条においても、他人の私生活にわたる言論の禁止の意義に反していますということで私は判断します。質問を変えてもらうことはできないか。

**発言** この事案はいずれかの時、必ず不納欠損額として計上されると思うが、その時はすべて明らかになると思う。町民に不利益をどのような形で与えたのか、わかると思う。

## 新年度の予算措置について伺う

**答** 取捨選択や創意工夫を凝らして予算編成にあたってている



西岡良則

**質問** 新年度には第5次総合計画も前期の4年目を迎えるが、第5次総合計画に掲げる目標達成に向けてどのような事業に取り組むのか、また新年度における予算措置や概要について伺う。

**答** 財務課長 平成31年度においても、これまでに引き続き「夢と希望が持てるまちづくり 朝日町」の将来像の実現に向け、第5次朝日町総合計画や朝日町総合戦略に掲げる重点施策の推進に優先的に取り組むこととしている。

予算編成にあたっては、事務事業の改善、事業評価を取り入れた予算編成、効率的な行政運営と持続可能な財政運営などを基本方針に掲げ、国・県等の動向や社会・経済情勢の変化などを的確に捉え、

既存事業の必要性や費用対効果などを十分検証し、ゼロベース視点で厳しく精査、取捨選択するとともに、新規事業についてはこれまでに以上に創意工夫を凝らしている。

予算概要については、現在要求内容の取りまとめを行っているところであり、全体像が定まっていないことから、具体的な事業についてのお答えはできないが、大型建設事業の終了に伴い、予算規模は対前年度比では大きく減少するものと見込んでいる。

**再生会議の今後のあり方について町当局の考えを尋ねる**

**答** 町側から各種団体の協議の場へ出向きアイデアを聞くスタイルを検討していく

**質問**

第2期の朝日町再生会議

からの提言を受け、来年度予算にどのように反映させるのか、また再生会議の今後のあり方について、町当局の対応と考えを尋ねる。

**答** 企画調整課長 各担当部署において、事業案の中で町施策に有用なもの、また今後、町として取り組むべき施策に関連させることができるものについては検討を重ね、中でも早急に取り組めるものは平成31年度当初予算に反映されるものと考えている。

次期再生会議の今後のあり方については、これまで行ってきた定期的な会議や組織体系ではなく、今度は町側から各種団体の協議の場へ出向き、生の声や意見、アイデアを聞かせていただく、町民が主役の参加型まちづくりの集といったスタイルとして展開することを検討していきたい。

**小川のサケ採捕事業の今年の入漁者数を伺う**

**答** 全国から2,874名の応募があり、365名が当選しサケ釣りをした

**質問**

小川は、平成27年にサケの採捕許可を受けたことでサケ釣りが楽しめる河川となり、今年も10月5日から11月6日までの1カ

月開設けられた釣りによる調査期間には、全国各地から大勢の太公望が訪れたと聞いている。今後も、内水面漁業の振興はもとより、観光資源としてサケ採捕事業を積極的に推進するためにも、今年度の入漁者数や宿泊客数などの成果と課題、また今後の当局の取り組みと内水面漁業の振興策について伺う。

**答** 農林水産課長

平成27年

より朝日内水面漁業協同組合が中心となって実施している小川サケ有効利用調査については年々人気を博し、本年は、北は宮城県、南は大分県から定員の約8倍の2,874名の応募があり、抽選の結果当選した延べ365名の方が参加しているが、朝日町で宿泊されたのは99名であるため、町内ホテルや旅館、民宿に宿泊された方への1泊2千円の助成制度以外にも、受け入れ人数の拡大や町内の滞在時間の増加、消費の拡大を促していく方策が必要であると考えており、関係者と検討していきたいと考えている。

## 消費税の10%への引き上げ をどう考えるか

**答** 有効活用に期待するとともに影響緩和  
対策について国の対応を注視していく



荒尾 勇 二

**質問** 安倍首相は来年10月に消費税を10%に引き上げると表明した。増税には景気抑制効果がある。国民の購買力は減退する。また、景気はリーマンショック以来の不況から抜け出ておらず、GDPは下がっている。こうしたときに増税すれば不景気は一層深刻になる。社会保障費が削減される中で国民の支出が増え、低所得者や高齢者をはじめとして、町民の生活が一層苦しくなるのではないかと。食料品の税率は8%に据え置き、クレジットカード利用でポイント還元、プレミアム商品券、新車購入に対して自動車税の軽減などいろいろ軽減策が論じられているが、一部の人たちだけであり、国民全体に行き渡るものではない。税率が10%のものとは8%の

ものがあり、問題を複雑にしている。さらに、インボイス制度が導入されることにより、中小業者や商店などは取引から排除される恐れがある。  
国民生活を苦しめ、混乱をもたらす消費税10%への引き上げについてどのように考えているか。



**答弁** 財務課長 プレミアム

商品券、ポイント制度などや、2019年10月から2020年末までの入居者に限り、住宅ローン減税を3年間延長し、増税分の2%が還元されるなど、消費税引き上げに配慮する対策が検討され、国民生活への影響緩和対策が講じられている一方、事業者においては、複数税率が混在するため、人的・経費的負担が大きくなることが想定される。中でも、

2023年10月からインボイス制度が導入される。事業者が仕入れ額控除を受けるため領収書等の税額・税率の記載を義務づけるものであり、小規模・零細事業者にとって大きな負担になると想定される。

消費税の引き上げ分は、年金、医療、介護などの社会保障や少子化に対処する施策への経費に充てることが明確化され、そのための貴重な財源となるため、有効活用に期待するとともに、景気対策、低所得者対策などの影響緩和対策についてもしっかりとした措置がとられるよう国の対応を注視していく。

除雪を委託された作業員が待機した場合に手当はあるか

**答** 会社等での待機指示はないため手当の支払いはない

**質問** 町道の除雪は建設会社や

農業者に依頼して行われているが、早朝からの作業に備えて作業員を待機させているということがあるのではないかと。そうしたときの手当をすべきではないか。

**答弁** 建設課長 県は、県が除

雪待機を指示した場合、業者はパトロールを行うとともに、運転者は迅速に出動できるように待機することになるので、作業がなくても待機手当を支払っている。

町では会社等での待機指示は行っておらず、業者は自宅にて出勤要請を受けるため、待機手当は支払っていない。

**再質問** 雪が降り、出勤要請があった場合、その日は待機の間があったとみなして手当を出したかどうか。

**再答弁** 建設課長 提案があったということにさせていただく。



## 観光による経済的効果を得るための仕組みを伺う



清水 眞人

**答** 観光協会や商工会などと協力して  
そのための施策を講じていきたい

**質問** 二市二町首長の訪台を踏まえ、来年の台湾人來町者目標数ほどの程度か。また観光交流拠点施設ヒスイテラスはオープン以来順調な來訪者数と報告されているが、見えてきた課題と、利活用による来年のヒスイ海岸來訪者目標数ほどの程度か。また観光事業における経済的効果を得るための仕組みづくりの進捗状況はどうか。

**答** 弁 商工観光課長 台湾人來

町者数やヒスイ海岸來訪者数について来年の具体的目標数は設定していないが、台湾旅行会社における認知度は確実に向上し、ヒスイテラスでは年間を通じたイベント開催を企画していることから、今年を上回る來訪者数となることを確信している。

見えてきた課題は、ヒスイテラ

スで飲食ができない点にあり今後の検討課題であると認識している。

またヒスイ海岸・舟川春の四重奏には多くの観光客が訪れているが、町の経済的効果に波及していないことは理解しており、民間活力が生かされるよう行政として観光協会や商工会などと協力して進めていきたい。また富山大学に委託した地域経済循環に係る分析・研究事業においても町の課題として観光の産業化が挙げられていることから、この点を掘り下げて分析を行い、大きな経済効果を生むための施策を講じていきたい。

**再質問**

ヒスイテラスの飲食の提供については、生業としては難しいと思うが、「シルバーカフェ」等小遣い稼ぎの位置づけで検討したらどうか。

また町でお金を使ってもらう仕掛けとして、いろいろ困難な点はあると思うが、なないろKANを免税店になるよう支援したらどうか。

また逆転の発想で雪の多い厳冬期に雪や蛭谷和紙などを素材に、インバウンド客の誘致ができるのではないか。

**再答** 弁 商工観光課長 いろいろ

提案された件は、カード決済や電子マネー対応を含め商工会等と検討していきたい。また県内においては、冬場の訪日客の誘致が課題となっており、雪を素材とした観光についても今後の検討課題として対応していきたい。



ヒスイテラスでのイベントの様子

## 認知症個人賠償責任支援制度の創設への町の考えを伺う

**答** 必要性、公平性、効果などを研究し検討していきたい

**質問**

愛知県大府市の認知症患者による列車事故の最高裁判決以来、先進的の地方自治体では患者と家族のサポートを目的として、認知症個人賠償責任支援制度を創設しているが、高齢者の多い当町としてその必要性についてどのような見解か伺いたい。

**答** 弁 健康課長

認知症個人賠償責任保険は、患者が不慮の事故などにより第三者に損害を与え、法律上賠償責任を負った場合、保険金が支払われるもので、愛知県大府市や栃木県小山市、兵庫県神戸市等、制度には若干違いはあるが、医師の診断など一定の条件を満たせば加入保険料全額、あるいは一部を公費で負担し患者や家族をサポートする支援制度である。

当町としては、認知症高齢者のさらなる見守りなどの充実を含め、必要性、公平性、効果などを研究し今後検討していきたい。

## 町道湯ノ瀬北又線の土砂崩れ防止対策について

**答** パトロールを通じ異状箇所への早期対応、発生時の早期復旧に努めていく



水野 仁士

**質問** 町道湯ノ瀬北又線はここ数年、毎年土砂崩れが起こっており、その都度通行どめになっているが、事前に崩れ防止対策はとれないか。

**答** 建設課長 町道湯ノ瀬

北又線は、もともと林道として車が少ない時代に整備された道路のため、全線にわたり道路幅員は狭く、車のすれ違いができる場所も少ない上、急勾配や急カーブが多く、過去には転落などの事故が発生したこと、富山県公安委員会の指導のもと、一般開放をやるめ、車両の通行を規制しながら維持管理に努めている。

崩れそうな危険箇所を事前に特定し対策することは、自然が相手なため難しく、仮に特定できても、その場所だけの対策だけでは

通行の安全を確保することは厳しく考えている。



町道湯ノ瀬北又線

また、補修整備も除雪が終わる6月下旬頃から山開きされる7月初旬までの期間や利用されなくなる11月以降の雪のない限られた期間にしか行えず、限られた箇所で整備しかできないことから、今後ともこれまでどおり車両の通行規制を行いながら、パトロールを通じて確認された異状箇所への早期対応、発生時の早期復旧に努めていきたい。

**湯ノ瀬北又線の迂回路を兼ねた登山道は設置できないか**

**答** この山域での整備は難しいものと考えている

**質問** 町道湯ノ瀬北又線は災害等で車も歩行者も通れなくなるころがあるが、そうした場合の迂回路を兼ねた登山道を新しく設置する考えはないか。

**答** 農林水産課長 元来、町

道湯ノ瀬北又線の周辺地帯は急峻でかつ地質が脆弱であることから、災害が発生するような豪雨時には山域全体が危険な状態になること、さらには一帯が国有林であることなど整備に当たってのハードルが高いことを鑑み、この山域での新登山道の整備を行うことは難しいものと考えている。

**再質問** 迂回路として利用できそうな作業道、登山道等があるため、課長には、雪が解ければ現場で見てもらいたい。

**再答** 農林水産課長 私の目で確認したい。

**朝日小屋の台風被害の復旧に町はどのように対応するか**

**答** 登山者の安全を確保するため何ができるか検討したい

**質問** 朝日小屋周辺設備は新聞報道にもあったとおり、台風21号(9月4日)により、生活用水タンクを吹き飛ばされ、発電機室の屋根及び外壁の破損、朝日小屋の出入り口の損壊や給排水パイプの全壊、野外キャンプ場トイレの屋根の一部破損など甚大な被害を受けたが、町の大事な資源であるこの朝日小屋の災害復旧に、町としてどのように対応するか尋ねる。

**答** 農林水産課長 被災箇所ごとの具体的な状況及び被害額は見積もり中とのことであり、町としてどこまで支援できるかは、現時点では示せないが、登山者の安全を確保するために何ができるかを検討していきたい。

## 朝日消防署への水難救助 隊の設置の考えは

**答** 黒部署・入善署に設置されており、合併のスケールメリットを生かしたい



大久保 光 太

**質問** 新川地域消防組合における水難救助隊について、朝日消防署にも水難救助隊の必要性が相当

に高いと考えられるが、当局においてはどのように考えているのか伺う。

**答** 消防署長 水難救助隊は特殊な活動であり、複数の隊員が必要となる。合併により構成市町の財政負担を軽減し、さらには人員配置の効率化によって質の高い業務を提供するなど、合併のスケールメリットを最大限に生かすため、従来から水難救助隊が配備してある職員数の多い黒部署・入善署に設置し、現在に至っている。

**再質問** スケールメリットの最大限活用は十分に理解できるが、新川消防の管理者でもある笹原町長はどのように考えるか伺う。

**再答** 町長 これは朝日町のみならず一市二町で構成しているため、合併した広域の範囲の中で議論が必要ではないか。新川地域消防組合の議会において問題提起してもらい、議論を深めていけばよいのではないかと考えている。

**質問** 山火事への対応マニュアルや訓練等の現状について伺う

**答** マニュアルの共有化や消防団と連携した訓練を実施

**質問** 山林豊かな朝日町において、有事の際には困難な状況が想定されるため、消火活動の手順の共有化や消防団との連携や訓練について伺う。

**答** 消防署長 山火事は一旦発生すると条件不利により焼損面積が広範囲に及ぶ危険性が高くなる。その対応については安全管理マニュアルにより共有化を図っている。なお、状況により消火防災ヘリコプターによる偵察、空中消火も積極的に実施する。訓練に関しては、消防署と消防団が連携し、春秋の訓練時にはポンプ車や小型ポンプを活用した中継送水訓練を行っている。また、1月には10トンの水を積載した水槽車が配備され、ポンプ車に送水することが可能になる。

**あさひまちバスのこれまでの利用実績について伺う**

**答** 昨年度は3万4,684人が利用された

**質問** まちバスの運営を担い始めて7年目を迎えようとしているが、現在までの利用者数の推移や路線ごとの課題と対応、改善について伺う。

**答** 企画調整課長 利用者数は平成24年度の1万2,174人から、平成29年度には3万4,684人と増え続け、ことしの3月まで対前年同月の一日当たりの利用者数が64カ月連続で増加を続けているという記録を達成した。また、課題や要望については、

地域間のバランス配慮や町の財政状況を十分に考慮しながら、さまざまな角度から総合的に検討・判断し、改善に努めている。

**再質問** 現在行っている新たな取り組みや利便性向上に向けた対策について伺う。

**再答** 企画調整課長 本年度三つの社会実験に新たに取り組んでいる。一つ目は大家庄線の分割運行であり、結果として川東の南北エリアについては既存の藤塚線への統合が合理的なため、西回り

を基本とした路線の見直しを検討している。二つ目は、土曜日運行であり、結果的には本格運行は厳しいものと考えられる。三つ目は、冬期間における朝日中学校から泊街なかまでの運行であり、要望を受け中学生のニーズや利用実態を把握するために12月よりスタートした。



あさひまちバス



# 常任委員長報告

## 常任委員長報告

### 総務産業委員会

当委員会は、12月17日、午前9時から開催し、議会から付託されました、

○議案第75号 平成30年度朝日町一般会計補正予算（第9号）

○議案第78号 平成30年度朝日町簡易水道特別会計補正予算（第1号）

○議案第79号 平成30年度朝日町下水道特別会計補正予算（第1号）

○議案第80号 朝日町の職員の給与に関する条例等一部改正の件

○議案第82号 黒東合口用水組合規約の変更の件

以上、5案件について、慎重審査いたしました結果、付託されております全案件は、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決しました。

なお、審査の過程において、次の要望、意見がありました。

・朝日町の独自性を出すため、最先端情報技術の活用を努められたい。

### 民生教育委員会

当委員会は、12月18日、午前9時から開催し、議会から付託されました、

○議案第75号 平成30年度朝日町一般会計補正予算（第9号）

○議案第76号 平成30年度朝日町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

○議案第77号 平成30年度朝日町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）

○議案第81号 朝日町文化体育センター施設条例一部改正の件

以上、4案件について、慎重審査いたしました結果、付託されております全案件は、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決しました。



### 議会を傍聴してみませんか！

定例会は3月、6月、9月、12月に開催されます。日程については、議会事務局に問い合わせください。議会日程のほか、議会のインターネット中継・録画配信も下記URLの町ホームページからご覧いただけます。  
<https://www.town.asahi.toyama.jp/gyosei/gikai/index.html>（トップページ ⇒ 朝日町議会 ⇒ 各ページタイトル）

# 議会日誌

## 十月

2、3日

朝日滑川間国道・バイパス  
建設促進期成同盟会中央  
要望（東京、新潟）

19日  
議会だより編集委員会  
24日  
全員協議会

糸魚川市朝日町議会議員連  
絡協議会（糸魚川市）

28日  
関西朝日会総会（大阪市）

## 十一月

13日  
議会運営委員会

14日  
第6回議会臨時会本会議  
下新川海岸整備事業促進議  
員連盟中央要望（東京）

15日  
町村議会議員・監査委員・  
事務局職員研修会（舟橋村）

16日  
新川広域圏関係市町議会議  
員研修会（黒部市）

19日  
全員協議会  
議員協議会

21日  
町村議会議長全国大会・豪  
雪地帯町村議会議長全国  
大会（東京）

26日  
黒部川治水同盟会要望  
（東京、新潟）

30日  
議会運営委員会

## 十二月

6日  
第7回議定会定例会本会議  
（提案理由説明・細部説  
明・質疑）

10日  
議会運営委員会

13日  
本会議（代表・一般質問）

14日  
本会議（一般質問）

17日  
総務産業常任委員会

18日  
民生教育常任委員会

20日  
本会議（委員長報告・討論・  
採決）



糸魚川市・朝日町議会議員連絡協議会  
(10/24 糸魚川市役所)



関西朝日会総会  
(10/28 大阪)

議長交際費を公開します

項目	H30. 10. 1～12. 31		H30年度累計	
	件数	支出金額(円)	件数	支出金額(円)
祝儀・寸志	7	145,200	20	299,464
香典・生花・見舞	2	10,000	5	35,000
土産・贈答	0	0	1	4,720
負担金・会費	7	80,244	14	136,244
懇談会	0	0	0	0
賤別・激励・協賛金	1	5,000	4	20,000
その他	0	0	0	0
合計	17	240,444	44	495,428

## 編集 後記



平成30年第7回朝日町議会12月定例会において、上程された8議案は可決され、15日間の会期を終了しました。

会期中、武道館・屋内グラウンド、あさひ総合病院など工事現場を視察しました。それぞれ工期日程に基づき進められており、オープン後は教育環境の推進、健康スポーツの推進や高齢者医療の先進モデル病院として、更にまちづくりを推し進めていく必要があります。

さて、「平成」は、噴火、地震、台風、豪雨などの自然災害が多く発生し、当町においても防災・減災に向けた取り組みが必要不可欠であるため、行政と消防が連携の強化を図り、「災害に強い朝日町」を目指すことが重要であります。

また、地域の活性化に大きく影響する泊高校跡地の活用をはじめ多くの課題があります。誠心誠意取り組んでまいりますので、今後とも議会に対してご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。（加藤）

### ◇議会だより編集委員

西岡 良則 加藤 好進  
水野 仁士 寺西 泉  
荒尾 勇二